

大妻同窓会新潟会報

「昨日まではどうであつても、
今日からは賢くなりましょう」
（創立者言行録）

第1号

発行者 大妻同窓会新潟

代表 長谷川 道

同窓会の新たな

歩みに向けて



代表
長谷川 道
(昭和36年大家卒)

東日本大震災はじめ原発、豪雨などに振り回された半年余り。

疲労困憊の被災された方々にかけて言葉もみつからず息苦しくなつてしまします。どうか一日でも早い復興をと念ずるのみです。この地球、どうなつてしまったのでしょうか。

特別号のとおり大妻コタカ記念会は内閣府より一般財団法人の移行認可を受け、四月一日から一般財団法人として新たなスタートとなりました。これに伴つて各支部ではこれまで使つていた〇〇支部が廃止され、

「大妻同窓会新潟」に変わりました。そこで九月に意見交換会及び理事会を開催し、会の歩むべき方向を模索するために大妻コタカ先生のお言葉をシリーズで会報に登載することになりました。

来年は第三十回目の総会を迎えます。この間、多くの方々には巡り会い、いろいろなことがありましたけど、喜びも哀しみもすべてが懐かしい思い出に変わり、過ぎ去つた年月の偉大なことを教えられました。また、同窓会での出会いによつて時の流れの何と早いことかと思つて昨今です。

創立者のお言葉に沿つて、総会への参加は、「今日からは賢くなりましょう」と考えたなら、今日は希望の日であり、自らを高め合う感謝の集いになりました。

年代を越えて楽しく語り合ひましょう。来春の総会には是非おいで下さい。皆様を心からお待ちしております。
(9月25日記)

総会・講演会を終えて

金 安 利 子
(昭和45年大家卒)

五月二十二日、大学より真家相生教授をお迎えして総会終了後、「大妻コタカの遺品……」と題してご講演をいただきました。

「大妻コタカの生涯と大妻教育」大妻コタカは、明治十七年広島県世羅郡に生まれる。幼くして両親を亡くし、生地は三川ダムに沈む。

川尻尋常小学校時代「下級生に教えるのが上手」とほめられたことをきっかけに教員を目指し、教育への熱い思いを心に刻む。十七歳で更なる向学心に燃え上京。和洋裁縫女子校などに学び、二十二歳で結婚、私塾を開き手芸や裁縫を近隣の子女に教える。私塾は大妻学校へと発展し「恥を知れ」を校訓に良妻賢母を多数輩出した。昭和二十四年、大妻女子大学開設。関東大震災、夫良馬の死、太平洋戦争敗戦に続く公職追放等数々の苦難を乗り越え、教育者として最期まで女子教育に命を注ぎ、昭和四十五年一月八十五歳で生涯を終える。

大妻教育の特色は、

①人物養成

知識教育のみに偏らず徳育教育に力を注ぎ、校訓「恥を知れ」を理解すること

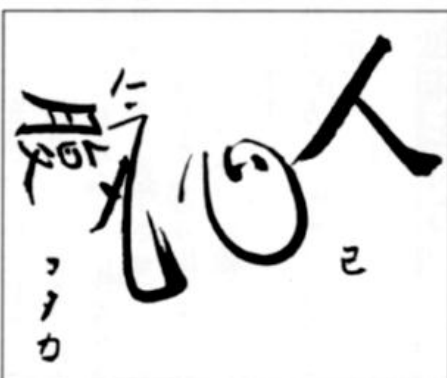
②教育即生活

授業内容を生活に生かし、主婦として良妻賢母となることを目指す

③個性の尊重

各自の才能に応え、個人個人に合った授業を行う

大妻教育を受けた私達同窓生も知らなかった事、又あらためて教えていただいた事多々ありました。出席者は小人数でしたが、大変有意義で楽しい時間を過ごすことが出来ていました。次会もいい出合いがあることを願っております。



人は大きく・己は小さく・心は丸く・気は長く・腹は立てるな

第二十九回 総会開催



講演会講師 真家生教授



大妻同窓会新潟総会 H23.5.23 於 チサンホテル

総会に参加して幸せ

真柄 佐千子
(昭和四十七年大家食卒)
卒業して四十年近くが過ぎ去ろうとしていきます。

第一回新潟同窓会に参加し、その後十年目、十五年目位に出席しているうちに先輩方々と会話を交わすようになり、同窓会っておもしろい繋がりがだと思いました。時代や生活環境の違う人達の集まりなのに懐かしく、学生時代の思い出を楽しく語り合える「不思議な空間」。

今回は、真家生教授をお招きしたの講演は、大妻コタカ先生の一代記ともいべきお話でした。

コタカ先生に直接お話ししたのは入学式の時、学園祭の時、校内を車椅子に乗っておられた時の三回位でした。コタカ先生の書かれた本も持つており幸せな大学で学ぶことができたとは有難く嬉しく思っているの帰路となりました。

総会に出席して

土田 雅代
(昭和五十九年 短家卒)
総会に出席させて頂いたのは、二十数年ぶりとなります。子育てや

仕事に追われている毎日ですが、久しぶりに在学中の頃を思い出し、とても懐かしく温かな気持ちになりました。諸先輩方に大妻コタカ先生の「恥を知れ」ステッカーをいただく等、会でのひと時は大変なごやかで楽しく来年もまた出席できればいいなと思いました。

今年支部長の長谷川さんに総会参加のお声をかけていただいたり、他県にいる同級生の息子さんが、新潟大学に進学されたりと、再会の機会も多く、大妻との深い御縁を感じております。

皆様活躍され、若々しい方ばかりでなんだかとてもうれしくなりました。これからは微力ながら、会の為に何かしら御協力、お手伝いが出来ればと思っております。

総会に思うこと

石原 久美子
(昭和五十二年 短家卒)

今回は二十数年ぶりの参加でした。子育てや親の介護、家業など多忙の日々でしたがゆとりが持てるようになりました。久々に古巣に帰ったような安堵感があり学生時代にタイムスリップ。皆様とは旧知の友達のように楽しく語り、笑い、幸せな時間を過ごさせていただきました。

趣味を持ち

続けること

大学に在籍していた日々、ここで出会えた方々、この良きご縁を宝物としてこれからの人生を歩きたいと思えます。進学させてくれた両親に、気持ちよく送り出してくれた家族に感謝し、次回の総会を楽しみにしています。

役員の方々、本当に有難うございました。
田村 好野
(昭和三十六年 短食卒)

今総会は何年ぶりの出席でしたが、馴染みの顔もあり、近況などをお聞きし楽しい一日でした。

私は、村田芳野さんが支部長当時手伝わせてもらった関係で村田さんは私の作品展にいつも足を運んで激励してくださり有難く思っています。又東京での作品展には、同級生達が会場に来てくれ私を励ましてくれていきます。私は「革工芸」人生を通して大学卒の皆様と交流できることを幸せに思います。「継続は力なり」革工芸という趣味を持ち続けられる環境、体力、周囲の人達の協力に心から感謝している昨今です。

青葉の集い

六月十二日(日)

一般財団法人大妻コタカ記念会の青葉の集いが、アルカディア市ヶ谷に於いて開催されました。

井上会長のご挨拶で始まり、記念会館が竣工したことのほか、一般財団法人に関わる諸般の報告がありました。続いて、役員構成も大きく変わりましたが役員の数智を結集し、「恕の心」で記念会をますます発展させて行きたいとの力強いお言葉があり、新生法人の門出にふさわしい集いでした。

総会后、ソプラノの大久保真千子さんのコンサートがあり、心和む時間でした。

会食の途中には、今回の東日本大震災で大きな被害を受けた岩手、宮城、福島と同窓会代表の方々から生々しい被害報告があり胸が詰まっています。 (長谷川)

(関連記事『ふるさと63号』)



“見学により大妻教育の真髄を知る

喜びを発見できるでしょう”

生活科学資料館 大妻女子大学 博物館施設

○常設展：2011年5月12日(木)～12月17日(土)

2012年1月5日(木)～1月28日(土)

(但し、会館は木・金・土曜日のみ、臨時会館日あり)

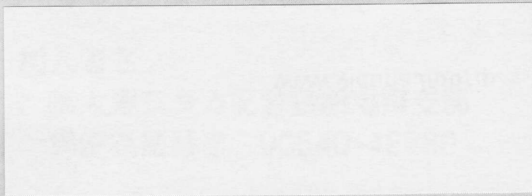
○企画展：2011年12月17日(土)まで

○開館時間：午前10時～午後4時まで。入場無料。

大妻女子大学図書館棟地下1階 TEL03-5275-6025

会費納入のお願い

1年分の会費1,000円(何年分でもどうぞ)お忘れの方は、下記に振り込んでいただきたくお願いします。



通信欄に下記事項を記入願います。姓名(旧姓も)・住所・卒業年・学部・科・電話番号

なお、大妻コタカ記念会会員の方は『記念会会員』と明記してください。

平成24年度 総会開催のご案内

日時 平成24年5月13日(日)

受付 10時30分～ 開会 11時

会場 チサンホテル新潟
新潟市笹口 プラーク1

定期総会

講演会

講師 山岸 健先生
大妻女子大学名誉教授
慶應義塾大学名誉教授
社会学博士

演題「未定」

懇談会

会費 6,000円 閉会 15時

会員皆様には、4月初旬、ご案内いたします。多数のご参加を心からお待ちしています。

編集後記

秋も深まり紅葉が風に舞う頃となりました。会報第1号をお届けいたします。

記念会が一般財団法人に新生したことを受けて、従来の支部だよりから会報に改めました。これを期に私たちもよりよい同窓会新潟の発展に少しでも寄与できるよう努めてまいりたいと思います。

今年は、日本がこれまでに経験したことの無い程の大きな震災に見舞われ、各地でいろいろな災害が発生し、日本中が混乱しておりますが、一人一人が力を合わせて、希望と感謝、そして前を向いて歩む勇気が復興の道につながると思います。近況、ご意見感想などお気軽にお寄せください。 役員一同

大妻同窓会新潟会報

特別号 お知らせ版

発行者
大妻同窓会新潟

代表 長谷川 道

公益法人制度改革と

一般財団法人大妻コタカ記念会

これまでの公益法人は民法第34条のもとで設立された社団法人又は財団法人を指していました。

しかし、時代の変化ほか、により公益法人制度改革関連の三つの法律案が国会での審議を経て、平成18年5月に成立、同年6月公布され、平成20年12月に施行されました。

なお、施行日から5年間は移行期間とされ、従来の公益法人は、この期間内に必要な手続きを行い新制度に移行することになりました。

財団法人大妻コタカ記念会は一般財団法人を選択し、内閣府に申請した結果、平成23年3月30日付で認可を受け、同年4月1日より「一般財団法人大妻コタカ記念会」に移行しました。新制度に基づく最初の会長には井上小百合様が就任されました。



井上小百合会長 略歴

昭和二十三年生

大妻中学高等学校に学ぶ。

東京理科大学理学部応用数学科卒業。

大妻中学高等学校教諭・教頭として勤務。

平成二十二年三月退職。平成十五年より

大妻記念会理事。

平成二十一年より副会長、

平成二十三年四月より会長。

大妻コタカ記念会と

地方同窓会の関わり

大妻コタカ記念会の組織の変更があり、従来の「寄付行為」が「定款」に代わりました。

記念会の中に、従来のように支部組織をもつためには、財政面において連結決算処理をしなければなりません。

つまり、各支部の会計をすべて記念会の中にいれて一本化しなければならぬということです。

しかし、これまではこのような財政処理をしないで、各支部は記念会とは別会計で、独自に決算処理をして、その結果を記念会や支部会員に報告してきました。

新制度移行後も従来のやり方を変更せず、しかも、これまでのような関係を保つために、〇〇支部でなく地方同窓会を総称して、「大妻地方同窓会」となりました。各地方の同窓会には地方名をいれて、「大妻同窓会新潟」というようになりました。また、支部長は「代表」に変更されました。

大妻コタカ記念会館が完成しました。クラス会やミニ集会に利用できます。



玄関正面



大妻コタカ記念会館完成
平成二十三年六月十一日(土)竣工披露式



お祝いのお花



玄関エントランス



3階会議室



2階会議室



書画カメラ

記念会館会議室使用案内

会議室は、2階・3階合わせて5室(8人～24人)。2室又は3室同時利用の場合は最大人数50人。

使用料金は 1時間600円～1,200円(8人～24人)。

料金は使用者全員が会員の場合、光熱費のみ(20%)を納入。

料金は使用者の一部が会員の場合、料金の50%を納入。

詳細は記念会事務室にお問い合わせください。 TEL 03-3265-7030

「ふるさと」が確実にお手元に届くために

◎ 会費を納入しましょう。

○ 高校または大学入学時に10年分の会費を納入していただいています。会費切れのお知らせは4月発行の

「ふるさと通信」に同封してお届けします。(平成24年度より)

○ 年会費2000円 5年会費10000円 何年分でもどうぞ。

○ 納入方法 振替 同封の用紙がない場合は郵便局の私込取扱票をお使いください。

・ 会費口座振替番号 00170-8-48936

・ 加入者名 「一般財団法人 大妻コタカ記念会」

・ 記入事項 ① 姓名(ふりがな、改姓の場合は旧姓も)

② 〒 現住所 電話番号

③ 卒業年・月(年度ではなく平成6年3月のように)・科・組

④ 生年月日(同姓同名が多いため)

⑤ 会員番号(宛名の下番号、わかる方のみで結構です)

この特別号は、井上記念会会長の了解を得て、平成23年4月5日現在の記念会ホームページ及び『ふるさとNo.63』他の資料に基づき長谷川が記載しました。

これからの大妻コタカ記念会と地方同窓会の関わりなど、お知らせします。